

目次

I. 総合研究報告

0. がん患者の個々のニーズに応じた質の高い相談支援の提供に資する研究…………… 7
 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部
 高山 智子

II. 資料

1) がん相談支援センターにおける相談内容の定期的・継続的な収集方法の確立：

相談内容の定期的・継続的な収集方法の確立に向けた検討

(1) 相談支援内容の分析と分類のプログラム開発

1. がん相談支援内容の分析と分類に関する研究（2020年度）…………… 22
 東京医科歯科大学 医療情報部
 内村 祐之
2. がん相談支援内容の分析と分類に関する研究（2021年度）…………… 25
 東京医科歯科大学 医療情報部
 内村 祐之
3. がん相談支援内容の分析と分類に関する研究（2022年度）…………… 29
 東京医科歯科大学 医療情報部
 内村 祐之

(2) 相談支援内容の分析と分類のがん相談対応施設での検証

4. がん患者の個々のニーズに応じた質の高い相談支援の提供に資する研究（2020年）…………… 33
 群馬大学医学部附属病院
 塚本 憲史、角田 明美、渡辺 恵
5. がん患者の個々のニーズに応じた質の高い相談支援の提供に資する研究（2021年）…………… 36
 群馬大学医学部附属病院
 塚本 憲史、角田 明美、渡辺 恵
6. テキストマイニングを用いた相談支援内容の解析（2022年度）…………… 37
 群馬大学医学部附属病院
 塚本 憲史、角田 明美、渡辺 恵

(3) 相談支援活動の見える化（ベンチマーク測定）に向けた検討

7. がん相談支援センターにおける「相談記入シート」を活用したベンチマーク指標作成の
 ための検討（2020年度）…………… 39
 国立病院機構 九州がんセンター
 藤 也寸志

8. がん相談支援センターにおける情報収集の諸要件に関する施設状況調査（2020年度）	43
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部	
高山 智子	
9. がん相談支援センターにおける「相談記入シート」を用いた相談対応状況のデータベース構築と活用に関する研究（2022年度）	52
国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部	
齋藤 弓子、高山 智子	
2) 相談員の教育・研修プログラムの開発・評価および実施に必要な体制や方策：	
相談員の教育・研修プログラムの開発・評価および実施に必要な体制や方策についての検討	
(1) 情報支援のオンライン研修プログラムの開発と準備	
10. がん患者の個々のニーズに応じた情報支援の研修プログラムに関する検討（2020年度）	55
北里大学病院	
近藤 まゆみ	
11. がん専門相談員向けのオンライン形式による研修方式の検討（2020年度）	60
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部	
高山 智子	
12. がん専門相談員向けのオンライン形式による研修方式の効果に関する研究 ～受講者へのアンケート調査より～（2020年度）	75
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部	
高山 智子	
13. がん専門相談員向けのオンライン形式による研修方式の効果に関する研究 ～受講者へのインタビュー調査より～（2020年度）	94
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部	
高山 智子	
14. がん専門相談員の教育・研修プログラムの実施マニュアル作成に関する検討 （2020年度）	100
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部	
八巻 知香子	
(2) 地域展開に向けた研修の担い手の育成と研修実施を支える基盤整備に関する検討	
15. がん専門相談員の教育・研修プログラムの地域展開に向けた検討（2020年度）	105
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部	
高山 智子	

16. がん専門相談員の教育・研修プログラムの地域展開に向けた地域実施施設側からの検討 (2020年度)	110
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部 高山 智子	
17. 「情報から始まる相談支援(情報支援)」研修の地域展開に向けた検討 ～研修プログラムに関する検討～ (2021年度)	113
北里大学病院 近藤 まゆみ	
18. 「情報から始まる相談支援(情報支援)」研修の地域展開に向けた検討 ～チーフファシリテーターの役割～ (2021年度)	29
東京医科大学八王子医療センター 品田 雄市	
19. 「情報から始まる相談支援(情報支援)」研修の地域展開に向けた検討 ～研修実施を支える基盤整備の観点からの検討～ (2021年度)	142
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部 小郷 祐子、高山 智子	
(3) 研修受講による研修効果と研修運営のフィージビリティに関する検討	
20. 「情報から始まるがん相談支援(情報支援研修)」研修の地域展開に向けた検討：研修の評価 ～情報支援研修の地域展開トライアルのプロセスと今後の展開について～ (2021年度)	150
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部 ¹ 湘南医療大学 保健医療学部看護学科 ² 八巻 知香子 ¹ 、清水 奈緒美 ²	
21. 「情報から始まるがん相談支援(情報支援研修)」研修の地域展開に向けた検討： フィージビリティについての関係者へのインタビュー調査 ～情報支援研修の地域展開トライアルのプロセスと今後の展開について～ (2021年度)	159
国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部 ¹ 湘南医療大学 保健医療学部看護学科 ² 八巻 知香子 ¹ 、清水 奈緒美 ²	
22. がん専門相談員を対象とする「情報支援研修」の効果測定に関する研究(2022年度)	164
国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部 八巻 知香子	
(4) 相談員が求める教育・研修に関する検討	
23. がん専門相談員に求められる研修等に関する検討(2022年度)	169
国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部 齋藤 弓子、高山 智子	

24. がん専門相談員の学会・研修会主催の研修・学習会参加に関する研究(2022年度)……………	178
湘南医療大学 保健医療学部看護学科 ¹	
東京医科大学八王子医療センター ²	
北里大学病院 ³	
清水 奈緒美 ¹ 、品田 雄市 ² 、近藤 まゆみ ³ 、	
(5) 他スタッフの支援状況と相談支援センターの活動に関する検討	
25. がん専門相談員の初期研修の受講効果と継続教育の意向に関する調査研究(2022年度)……………	184
国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部	
高山 智子、齋藤 弓子	
3) がん相談支援センターの医師への周知に関する体制整備の検討	
26. 診断されて間もない人への情報提供資材の評価と活用に関する研究(全体)(2021年度)……………	189
国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部	
高山 智子	
27. 診断されて間もない人への情報提供資材の評価と活用に向けた検討	210
～医師や医療者が効果的に活用するには～(2021年度)……………	
社会医療法人駿甲会 コミュニティホスピタル甲賀病院	
鈴宮 淳司	
28. 診断されて間もない人への情報提供資材の評価と活用に関する研究(2021年度)……………	212
国立病院機構 九州がんセンター	
藤 也寸志	
29. 診断されて間もない人への情報提供資材の評価と活用に関する研究(2021年度)……………	214
岡山大学病院	
石井 亜矢乃	
(1) 医師へのインタビュー調査	
30. がん相談支援センターの医師への周知に関する体制整備の検討	217
～医師へのインタビュー調査～……………	
国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部	
高山 智子、齋藤 弓子	
(2) がん関連学会の医師を対象としたがん相談支援センターの認識調査	
31. 施設単位での相談支援センターの周知の取り組み方法の検討	220
院内と地域に向けた周知活動について～日本臨床腫瘍学会を介した調査～……………	
社会医療法人駿甲会 コミュニティホスピタル甲賀病院	
鈴宮 淳司	

(3) 拠点病院内での効果的な相談支援センターの情報資材（冊子）配布方法の検討	
32. がん相談支援センターの医師への周知に関する体制整備の検討	
～がん相談支援センターでの周知の取り組み方法について～	223
国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部	
高山 智子、齋藤 弓子	
(4) 拠点病院内での効果的な冊子の実践事例による検討	
33. 施設単位での相談支援センターの周知の取り組み方法の検討	
院内と地域に向けた周知活動について～九州がんセンターでの取り組み～	248
国立病院機構 九州がんセンター	
藤 也寸志	
34. 施設単位での相談支援センターの周知の取り組み方法の検討	
院内と地域に向けた周知活動について～岡山大学病院での取り組み～	252
岡山大学病院	
石井 亜矢乃	

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表	256
-------------------	-----